

広見学区女性の会「桜会」の活動視察

- 日 時：平成25年11月17日（日）9：00～11：00
- 場 所：名古屋市立広見小学校 体育館及び運動場

【広見学区女性の会「桜会」について】

広見学区女性の会「桜会」は、女性として教養を高め、地位の向上及び学区の発展に寄与すると共に会員相互の親睦を図ることを目的としています。

地域の防災について意識を高めてもらい、住みよいまちづくりを地域の皆さんと共に考え、助成ならではの細やかなボランティア活動を行い防災に対する意識を高めています。

また、多世代との意見交換の場所づくりに心掛け、様々な会合を持つことにより、地域の問題などを知り、多くの手助けができるようにしていく活動をしています。

【活動の様子】

防災訓練

広見学区女性の会「桜会」の活動視察に行ってきました。

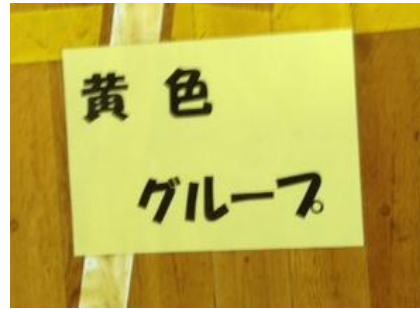
当日はやや肌寒い晴天で、会場には訓練のために多くの地域住民が集まっていました。

今回は、広見学区女性の会「桜会」の防災訓練の発案が、学区として取り上げられ広見学区運営委員会と協働で行われることになり、地域住民が大勢集まった大がかりな防災訓練となりました。





受付で、グループ別に色分けしたシールを受け取り他の人からどの色のグループか見えやすいように肩に貼ります。



■担架がない場合の要介護者の運び方の訓練

自力で動けない人を一人で動かす方法や二人で運ぶ方法などを体験しています。



■消火器の使い方の指導

訓練用の消火器で炎に見立てた的を狙います。



■AEDの使い方の説明

AEDを使い方の説明を受けています。



■間仕切り段ボールハウスの組立訓練

地域の子供たちも一緒に組立っています。



■防災用品の展示



■非常食の展示



■炊き出し訓練 (豚汁)

ガスを使えないことを想定して薪で炊いています。



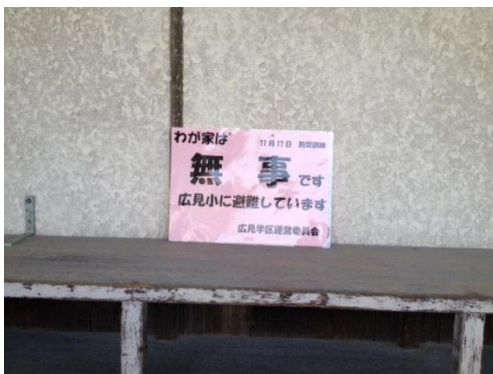
■炊き出し訓練（ご飯）

電気を使えないことを想定してかまどで炊いています。



電気やガスを使わないで炊いたお米で
たくさんのおにぎりができました。

■世帯の無事と避難先を知らせる表示



■カラーコーンで訓練別に表示



学区の運営委員会と協働での大がかりな防災訓練となり、より多くの地域住民が真剣に参加し、普段はなかなか使う機会のない防災用品の使い方を学び、電気やガスのない食事を作るなど、地域の防災意識が高まっているのを感じました。

このような防災訓練をすることで、地域住民の協同で助け合うという意識がより高まり

いざというとき助け合える地域住民の絆が深まることを期待しています。



みるくの感想

広見学区女性の会「桜会」のみなさんからお話を伺い、とても感激しました。やってみようの一言ではじめてみたものの手探りで、実際に行動に移すことの大変さを改めて感じました。

また、押しつけではなく自分たちの手作りで、とてもすばらしいと思いました。

大きな鍋で多量の豚汁を作ることは、普段では体験しないことだと思います。さらに、災害時に電気もガスもなく水道も出ないという状況を想定しての炊き出しならではの工夫について、どうしたらよいかなど、みんなでアイデアを出されていました。

子供も大人も、多くの方々が集まって、顔の見える関係をつくり、まちの安全を地域で実現することを体験されたと思います。みなさんが力を合わせている姿はとても嬉しいものです。

最後に、みなさん、防災訓練の当日のご苦労はもとより、当日を迎えるまでの準備にもご苦労され、本当にお疲れ様でした。



ぴよんちゃんの感想

当初はもっと小さな規模の防災訓練を想定していたようですが、その防災意識が学区を巻き込み結果的に学区と協働で大がかりな防災訓練ができ、地域への拡がりをもたらされたことがまちづくりへの貢献に感じました。

普段は慣れない防災用品の使い方や、災害時の日用品を利用した担架の作り方など、地域の人々が生活の中で防災ができるということを示す機会があたえられ、グループ別に色分けされたシールを肩に貼るアイデアは、災害時の役割分担にも活かせる取り組みだと思いました。災害時に、地域が一体となれる取り組みの大切さを感じました。